

婦人科ドックのすすめ



婦人科では、婦人科医師による、女性のためのドックを行っています。生涯にわたって健やかな生活を送るためにがん検診をおすすめします。

婦人科の病気

子宮筋腫、卵巣腫瘍



最近、婦人科検診(内診と婦人科超音波検査)で、なんと4人に1人に子宮筋腫などの異常が発見されています。特に子宮筋腫や卵巣のう腫は、40歳代で多く発見され、筋腫の大きさによっては無症状なことが多く、検診ではじめて発見されるケースが増えています。

子宮頸がん



子宮頸がんは子宮の入り口部分にできます。かかりやすい年代は、30~50歳で、40歳代に最も多く見られます。日本では年間約1万人の女性が子宮頸がんの治療を受けていますが、子宮頸がんの場合、早期の発見であれば子宮や卵巣を残し、妊娠分娩することも可能です。子宮頸がんは無症状の前がん状態(異型上皮)のうちに発見することが可能で、そのためには定期的な検診が大切になります。

検診内容

基本

- ・ 内診、膣鏡診、経膣超音波

子宮筋腫、卵巣腫大の有無のチェック、子宮頸がんの検査をします。

- ・ 子宮頸部細胞診

子宮の出口を綿棒で拭って細胞を採取し特殊な染色を施し顕微鏡で観察する細胞診という検査で判定します。

オプション

- ・ 子宮体部細胞診



子宮体がんは子宮の奥の赤ちゃんが育つ部分に発生し、最近では日本人の生活習慣の欧米化により増加傾向が見られます。一般の婦人科検診では行われませんが、生理以外の出血などの不正出血症状がある場合には検査をお勧めします。

- ・ 腫瘍マーカー

腫瘍マーカーCA125を採血します。これが正常範囲内で経膣超音波にて卵巣や子宮の腫大が認められなければ、ひとまず安心です。



ドック料金(税込み)	基本	2万円
	オプション	各5千円

詳しくは、産婦人科までご相談ください。

独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院 産婦人科

埼玉県和光市諏訪2番1号 Tel: 048-462-1101 (代表)